

指定都市市長会「第1回多様な大都市制度実現プロジェクト（Web会議）」の開催について

標記の件について、次のとおり開催しますので、お知らせします。

1 日 時 令和3年2月4日（木）15時30分から16時30分まで

2 出席者

神戸市長	久元 喜造（プロジェクトリーダー）		
仙台市長	郡 和子	名古屋市長	河村 たかし
さいたま市長	清水 勇人	京都市長	門川 大作
川崎市長	福田 紀彦	岡山市長	大森 雅夫
横浜市副市長	小林 一美（代理出席）	広島市長	松井 一實
相模原市長	本村 賢太郎	北九州市長	北橋 健治
静岡市長	田辺 信宏	福岡市副市長	光山 裕朗（代理出席）
浜松市長	鈴木 康友	熊本市長	大西 一史

3 報道取材について

- ・ 会議は全て公開です。
- ・ 本市における会場は、本庁舎本館2階第1特別会議室です。
- ・ 取材受付は15時15分から、第1特別会議室前にて行います。
- ・ 会議終了後、市長がぶら下がり取材に対応します。
- ・ 本プロジェクト（Web会議）は、PC等の通信環境をご用意いただければ、視聴が可能です。希望される場合は、会議のIDやパスワードをお知らせしますので、2月3日（水）17時までに、指定都市市長会事務局（jimukyoku@siteitosi.jp）にメールにてご連絡ください。

4 その他

- ・ 本プロジェクトの詳細は別紙（令和2年11月16日指定都市市長会記者発表資料）のとおりです。
- ・ 会議資料については、指定都市市長会ホームページ（<http://www.siteitosi.jp/>）より取得可能ですので、ご参照ください。（トップページの「ニュース」または「ピックアップ」から「多様な大都市制度実現プロジェクト」のページをご覧ください。）

1 趣旨

- 現行の指定都市制度は、人口減少や少子・高齢化、社会資本の老朽化などの課題や圏域全体の活性化・発展のけん引役として求められる役割に十分対応できる制度にはなっていない。
- 二重行政を完全に解消する制度としては、いわゆる都構想といわれる指定都市を解体し道府県に権限を一元化する方法と、道府県の権限を指定都市が担う特別自治市の2つの方法がある。
- 前者の制度は、大都市地域特別区設置法が施行されているが、後者の特別自治市は法制化されておらず、均衡のとれた地方自治制度となっていないため、双方の制度を選択可能にすべきである。

2 テーマ

多様な大都市制度を早期に実現するため、特別自治市制度の立法化に向けた素案を策定し、国・政党に提言する。

3 担当市長(プロジェクトリーダー)

久元 喜造 神戸市長(指定都市市長会 総務・財政部会長)

4 進め方(案)

プロジェクトの下に、大都市制度を所管する各市部局長級職員による作業部会を設置する。プロジェクトへのアドバイザーとして、特別自治市制度に造詣と理解がある学識者の参画を検討する。

5 今後のスケジュール(案)

令和2年	12月	プロジェクトのメンバー決定
	12月	プロジェクト会議(または作業部会)
令和3年	3月	プロジェクト会議
	5月	プロジェクト会議・指定都市市長会に中間報告